

## 2019年度 推薦入学試験（体育推薦） 総合文化学部 人間福祉学科 「出題の意図」

### 1. 実施状況

#### ①社会福祉専攻

| 志願者数 | 合格者数 |
|------|------|
| 6    | 6    |

#### ②心理カウンセリング専攻

| 志願者数 | 合格者数 |
|------|------|
| 3    | 3    |

※志願者数・合格者数は、指定競技推薦を含む

### 2-1. 人間福祉学科 社会福祉専攻 アドミッション・ポリシー

社会福祉専攻では、以下のような志願者を求めています。

1. 将来、社会の各分野で社会福祉の専門家として働くことを強く希望し、その素質が十分であると認められる人物。
2. 社会福祉の分野に活かせる具体的な能力や技能を有し、大学での勉学や将来において活用が期待できる人物。
3. 将来、アジアや太平洋地域をはじめとする国際的な場における支援活動に参加することを熱望する人物。

上記に加えて、A O型入学試験では、以下のいずれかに該当する学生を歓迎します。

- ・社会的マイノリティーの問題を自分の問題として考えられる人
- ・グローバルな視点をもつ人
- ・知的探求心と批判的な思考力を培い、積極的に社会に参画したい人
- ・他者の個性、多様性に寄り添い、他者と一緒に社会の状況を正しく認識し、問題解決のためのスキルを身につけたい人
- ・リーダーシップを発揮できる人。また、自分や他者を肯定的に捉えることができる人
- ・他者と協調、共創するコミュニケーション能力を持つ人

### 2-2. 人間福祉学科 心理カウンセリング専攻 アドミッション・ポリシー

人間福祉学科心理カウンセリング専攻は、沖縄国際大学の「アドミッション・ポリシー」を以下の通り具現化し、人間のこころに関心を持ち、自らの個性と人間力の向上に努める人物を求めます。

1. 人間の「こころと行動」と「人と人とのつながり」について学ぶ意欲と関心を持つ人物。
2. 大学で学ぶことに強い意欲と関心を持ち、自ら学び、常に自己研鑽、自己成長に努める人物。（自分を成長させようという意欲と態度を持つ人）
3. 人間のこころや行動の成り立ち、働きについて、心理学的な立場からの確に理解し、日常生活に実践的に応用したいという真摯な態度を持つ人物。

A O型入学試験では上記に加えて、

- ①人間のこころについて科学的な視点（実験・調査・観察・統計など）から学ぶ意欲のある人
- ②これまでに意欲的に取り組んできた活動や得意分野が、大学で学びたいことに結びついている人を求めます。

### 3. 出題の意図

人間福祉学科は、福祉や心理の専門家を目指す学生を求めています。このことは、社会福祉専攻の「将来、社会の各分野で社会福祉の専門家として働くことを強く希望し、その素質が十分であると認められる人物」、心理カウンセリング専攻の「人間のこころや行動の成り立ち、働きについて、心理学的な立場から的確に理解し、日常生活に実践的に応用したいという真摯な態度を持つ人物」を求めるアドミッション・ポリシーからも確認することができます。

このことを踏まえ、本問を作成しています。本問の出題意図は、専門家の学校への多様な関り方に対する、受験生の基礎的な知識・理解、論理的思考力・表現力を確認することにあります。福祉専攻や心理専攻の入試という観点から、スクールソーシャルワーカーやスクールカウンセラーなどの専門家も出題テーマとなりえますが、体育推薦ということに鑑み、受験生がよりイメージしやすい「部活動指導員」をテーマとしています。

問題は、「導入による利点と克服すべき課題」を論じる形式にしています。この形式により、マスメディアや実体験から得られる「部活動指導員」をめぐる基礎的な知識、「部活動指導員」に関する自身の経験等に基づく理解、あるいはメリットとデメリットの両方に配慮する思考力・判断力等を確認できるようにしています。さらに、利点・課題を論じる際に適切な根拠を挙げる事ができているかどうかを確認できるようにしています。

### 4. その他特記事項（評価のポイント・アドバイスなど）

将来、福祉や心理の専門家になるうえで、まずは身近な学校や社会にどのような専門家が存在し、どのように自分たちに関わっているかを知ったり、考えたりするようしてみてください。

また、特定のテーマについて賛成や反対などの意見を述べる際には、立場の異なる相手も納得できる理由を挙げるよう日頃から意識してみてください。